

新宮山彦ぐるーぷ第2196回

川島前代表の慰霊と行仙宿巡回整備

◇実施日 8月11日(木) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、湯川一郎、生熊敏男・千満子、

濱野兼吉、畑林秀味・清子、大江加予子、西克、高階

鈴子・美根子、梶野照雄、志岐敬、山本直子、山口康

宏、板野良、村吉光夫、奥村順夫 (19名)

毎年この時期には持経宿、平治宿と行仙宿に登ってお盆前の清掃や御供の取替などを行っている。8月11日の「山の日」は川島前代表の命日でもあるので、行仙宿のお盆準備を皆さんに呼びかけた。2日前の8月9日には、初盆となる故山川さん宅へ11名が訪問し線香をあげさせて頂いた。



林道の落石除去



荷物を満載で



川島前代表の慰霊

11日午前8時少し前新宮を出発、9時過ぎに四ノ川林道に入った。登山口までの途中にコンテナボックス二個ほどの大きな落石が鎮座していて、梶野君はこの落石処理も本日の作業メニューとしていたようだ。先着していた梶野車の三人が我々の到着を待っていた。ボール大小、大ハンマーを車から降ろし落石の移動を試みる。畑林君が大ハンマーで上部を5〜6回叩いてみたが割れる気配はない。ボールを使って少し動かすと真ん中で二つに割れた。畑林君の叩き方が良かったようだ。半分の大きさになった落石をボールを使って林道の山側に押しやった。



荷揚げ品を運ぶ

水場に降りる

潤っていた水場

登山口では児嶋さんがモノレールのエンジンオイル交換を終えていた。村吉さんは持参の木杭や半割丸太に防腐剤を塗ってから持経宿で作業予定だ。数日前に中前君が足場板(2m)8枚を登山口にデポしてくれていた。村吉さんにこの足場板にも防腐剤を塗るようお願いした。

荷物が多く一度では運びきれず、モノレールは2往復した。川島前代表の急逝現場に全員が集まり、坂野君に導師をお願いし、心経を唱えて冥福を祈ると共に、今後の山行作業の安全を見守ってくださいとお願いした。

モノレール終点まで登り、荷揚げ品をチェックする。御供、水2L12本、木杭30本、砕石など荷物は多く一回で運び上げるのは難しいと思っていたが、湯川君が水6本を担ぐなど皆さんが頑張ってくれたので、一度で全ての荷物の荷揚げが可能になった。

行仙宿に着き、女性陣にお堂の整理・清掃をお願いする。

梶野、志岐、山本、坂野、西の5名は水場に降りてもらった。

山口さんから「佐田ノ辻に積んである間伐材の一部が腐り始めているので薪材にはどうか」と提案があり、倉庫から玄翁、斧、鉄楔、チェーンソーを持ちだし、残った者で薪割りを始めた。



薪造り

薪を一方所に集める

割れた便器

お昼前に水場班が戻ってきた。水場に流れは無く、水溜に溜まった

水は腐臭がして引用はできない、と報告があった。

一区切りついたので昼食とした。食事を終え歓談中にチェーンソの音が聞こえてきた。児嶋さんが作業を始めたようだ。いつも一番先に動きだす。今日も発電機のプラグ取り換えや、小屋の掃除機掛けやらとよく動く。それにつられて皆さんも腰を上げて作業を始めた。

男性陣は引き続き薪造り。女性陣はお盆用の櫛を集めて荷造りに忙しい。午後2時過ぎには作業も終了し帰り支度を始めた。

沖崎はトイレ上の不用品回収のため脚立を立てていたが、脚立の途中でバランスを崩し、脚立ごと小便器方向に倒れて便器が割れてしまった。安全には配慮しているつもりだったが、気を付けなければならぬ。今日の大反省だ。



本日の参加者

足場板にも防腐剤

木杭は50本以上

午後3時前、登山口に下山。村吉さんの姿は無く、杭や足場板の全てに防腐剤が塗られていた。

帰宅後に村吉さんからメールがあり「一人で作業していると紀北町の奥村君が川島前代表の命日に線香をあげにやってきました。防腐剤塗りを1時間半手伝ってくれた」との報告があった。

(記：沖崎)

行動タイム

09：25 補給路登山口→10：50 行仙宿 13：55→14：40 補給路登山口
15：40